

色とりどりの緑があります。

緑にふれるとホッとする。いつだって緑は人をやさしく包んでくれます。

花と緑の祭典 第29回全国都市緑化フェアTOKYO。

6つのメイン会場をはじめとして都内各所で

個性豊かな緑のステージが展開されます。

時を越えて受け継がれてきた緑。今を彩る緑。そして次世代につながる緑。

さあ、色とりどりの緑の風を素肌に感じに出かけましょう。

TOKYO GREEN 2012
 平成24年9月29日(土)
 ▶10月28日(日)

第29回全国都市緑化フェアTOKYO
<http://greeneryfair-tokyo.jp>
※各会場にご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。



井の頭恩賜公園「花の庭」イメージ 撮影協力:掛川花鳥園

緑の風は6通り。ふかれてみたい風はどれ？

メイン会場

6つの会場をはじめ都内約400ヶ所^(※)で個性豊かな緑のステージが展開されます。

※区市町村の公園や、緑化に取り組む民間施設からなる協賛会場

上野恩賜公園会場

東日本の玄関口 上野から、“多様な文化と芸術の風”

多様な文化と芸術を育んできた上野で、復興への祈りと地球や自然への感謝の気持ちをテーマとした庭園などで構成します。



- 竹の台エリア:復興への祈りや農の風景を再現した「東北『農』の庭」。地球のすべてを構成する木土金水の「五行」や守護星である「七曜」をモチーフとした「七曜の庭」。
- 不忍池エリア:花と緑でおりなす「下町の庭」。

井の頭恩賜公園会場

色彩豊かな秋の武蔵野から、“ふれあいにぎわい、交流の風”

所は武蔵野、季節は秋。日々の暮らしの中で、花や緑を五感で受けとめることがいかに大切か。そんな想いをこめたテーマガーデン群です。



- テーマガーデンゾーン:「花の庭」、「癒の庭」、「実の庭」、「食の庭」、「香の庭」など植物とのふれあいや新たなライフスタイルを提案。
- キッズビレッジゾーン:緑の中で子どもたちが木材などを使った遊びを通して、人と自然の関わりを楽しみ体験。

日比谷公園会場

日比谷から、緑のムーブメント。“都市を彩る生命(いのち)の風”

日本初の洋風公園であり、都市の緑のシンボルである日比谷公園。最先端の緑化技術や「2020年の東京」への施策をわかりやすく展開します。



- 都市のメッセージエリア:来場者のみなさまの東北を応援する想いが、まったりながらひとつのアートに完成されていく参加型ガーデンなどを展示。
- 緑のアートエリア:日本を代表するガーデナーが日本の里山を表現し、東北へのメッセージを発信。

浜離宮恩賜庭園会場

歴史の息づく日本庭園から、“現在(いま)に生きる伝統の風”

江戸の庭園技術や文化を紹介。「庭園都市一江戸・東京一」の緑のまちづくりを展開し、伝統文化を保ち、受け継いでいく大切さを伝えます。



- 江戸文化体験エリア:将軍から庶民まで親しまれていた江戸園芸や庭園技術などを紹介。
- 庭園エリア:「中島の御茶屋」、「松の御茶屋」などを活用した茶会を通じて、かつてこの庭園で過ごした将軍の気分を体験。

海の森会場

東京の新しい森 海の森から、“未来につなげる緑の風”

植え、育て、つなげる。新しい森がたくらまれていく過程をお見せしながら、東京の都市緑化のシンボル 海の森への理解を深めていただきます。



- 植樹エリア:都民3000人による東京ドームを超える大規模な植樹を実施。
- その他:通常ご覧いただけなかった育成中の海の森を期間限定で特別に公開するほか、植物や昆虫などの親子観察会や海の森の成り立ちがわかる見学会・展示を実施。

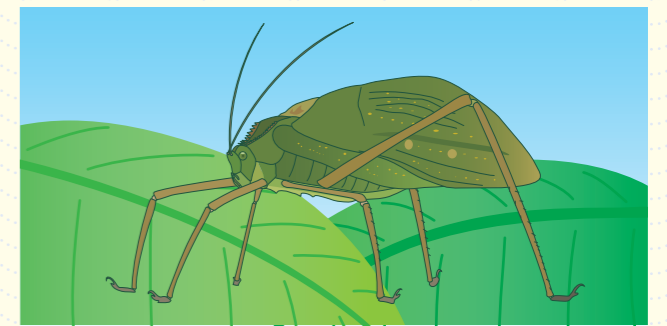
国営昭和記念公園会場

コスモス満開の丘から、“人間(ひと)をはぐくむ杜の風”

恒例の「コスモスマつり」を発展。大規模なコスモスの花修景や、地域やボランティアの方々とひとつになって多様な展示・体験イベントなどを行います。



- みどりの文化エリア:屋上・壁面緑化と緑のカーテンにより、園内を花と緑で包み込む。地域との連携・協働による「秋の楽市」開催。
- 昭島ロエリア:親子で参加できる楽しいイベント「親子ふれあいスポーツデー」。



「巨大昆虫 オオコノハギス」

多摩動物公園 渡辺 良平

昆虫園では6月末より、マレーシアから来た昆虫「オオコノハギス」を展示しています。

みなさんはキリギリスやクツフムシといった昆虫をご存知でしょうか。4~6センチほどの、いわゆる鳴く虫と呼ばれる夏から秋にかけて野外で見られる昆虫たちです。オオコノハギスもこの鳴く虫に含まれるのですが、日本の鳴く虫では到底考えられない2つの特徴があります。

まず、彼らの体長は翅を含めてなんと約14センチ！日本最大級の鳴く虫、タイワンクツフムシ（昆虫園で展示中）の約2倍！子どもはもちろん、大人の手のひらからみ出すほどです。

そして鳴き声。1匹が鳴きただけでも耳を塞がなければとても聴いていられない、まさに騒音レベルの音量です。基本的には求愛のために鳴くのですが、ちょっと嫌なこと、例えば世話をしている最中に飼育員の手が触れようものならそれだけで鳴く個体もいるため、毎朝水槽掃除をするときは彼らを怒らせないよう緊張の連続です。

まるで置物のように動かない昆虫ですが、ちゃんと呼吸をしていますので、ご来園の際はぜひ腹部に注目してください。



~水族園の“かお”~

葛西臨海水族園 アクアシアター

今年6月、7月にクロマグロ、ハガツオが追加されて大群泳となっています。ダイナミックなマグロたちの泳ぎを「アクアシアター」でご覧ください。

